

# 2019 年度 自主防災組織総会

桜ニュータウン自主防災組織

日時:2020 年 3 月 29 日(日) 自治会総会終了後～12:00

場所:広岡交流センター 1階ホール

## 議事次第

- I. はじめに
- II. 2019 年度 活動報告
- III. 2019 年度 決算報告
- IV. 2020 年度 役員・顧問
- V. 2020 年度 防災員名簿
- VI. 2020 年度 活動計画
- VII. 2020 年度 予算案

### I. はじめに

2011 年の東日本大震災から早くも 9 年が経過しました。桜ニュータウンでは昨年度から 9 月 1 日と 3 月 11 日を防災の日とし、この前後の 1 週間を防災週間として、住民の皆様には家族同士の連絡体制や防災備蓄品の確認をお願いしているところです。

一方で、昨年は台風 15 号、19 号、21 号が関東を直撃し、桜ニュータウンでも強風による被害が発生しており、これからは大型台風接近に備えた防災対策を講じることも必要になってきています。

私たちは「自分の命は自分で守る」、「我々の街、桜ニュータウンは、住民みんなで守る」の理念の基に、2012 年に自主的な防災活動を行う自主防災組織を立ち上げ、住民全員参加で災害の軽減・防止に努めることを目標に活動を継続してきております。

自主防災組織の共助の働きの鍵を握るのは、住民のコミュニケーションの力です。幸いに桜ニュータウンはコミュニケーションの非常に良い街なので、平常時の緩やかな見守りから、災害時の共助にわたって住民の力を発揮することが可能と考えています。

自主防災組織では設立時の理念と目標に向かって努力を続けるとともに、新たな課題への取組みも始めていきます。今後とも皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

## Ⅱ. 2019 年度活動報告

### 1. 自主防災組織全体

- ① 「新防災計画」に基づき、活動マニュアルを作成するとともに、自治会による避難所運営本部の役割分担について確認した。
- ② 6/8 日赤減災セミナー、9/28 防災訓練、1/26 救急救命講習会、2/1 防災住民意見交換会を開催した。
- ③ 9 月と 3 月に防災の日と防災週間を設定し、「防災チェックシート」による点検を依頼したり、備蓄水の購入あっせんに取り組んだ。
- ④ 筑波研究学園専門学校を避難所として利用できるよう近隣自治会とともに土浦市長へ要望書を提出。現在、災害時の一時避難所として使用するための協定書が、つくば市、土浦市、学校の 3 者協定として準備されているところ。
- ⑤ 災害時につくば市の井戸(桜ニュータウン北区)を利用できないか、つくば市と協議してきたが、結局この方向で行うことは中止し、新たにつくば市の補助金を利用して中央公園に整備する方向を確認した。
- ⑥ 人材バンク調査、及び台風による建物等の被害調査アンケートを行った。
- ⑦ 消火栓ホースのごみ置き場への追加設置を行った。
- ⑧ 自主防災組織のホームページを使って情報発信を行なった。アドレスは、<http://sakurant.org>
- ⑨ 開催した会議は以下のとおり。
  - ・役員会 8 回(4/27、5/25、7/27、9/21、11/30、1/25、2/26、2/29)
  - ・防災会議 3 回(6/29、10/19、2/29)

### 2. ひなん支援部会

- ① 災害時安否確認のための世帯調査とひなん時に支援希望する方の調査を行なった。その結果、今年度支援が必要な世帯数は 71 世帯で、80 名の方にサポーターをお願いした。
- ② 日赤による講習会(避難所で快適に過ごせるように、避難所の運営)を 6 月に開催した。参加者は 35 名。
- ③ 防災訓練で安否確認を担当した。班長、サポーター、メールによって安否が確認されたのは 85.2% (459/539 世帯)で、サポーターによる支援希望者世帯の確認は 80.3%(去年は 39.1%)だった。
- ④ 支援希望者宅を 3 回(6、10、2 月)訪問、ひなん支援部会を 5 回(5、6、7、10、1 月)開催した。

### 3. 情報部会

- ① 広報活動:防災メールによるお知らせ・注意喚起を 10 回発信。防災掲示板の有効活用と防災だよりの発行(5 回)。防災訓練時に返信のなかった方に再度防災メールを送り着信を確認した。
- ② HP の管理運営:行事の開催案内や防災だより等を掲載し、順次更新を行った。HP の 2 月末までの訪問者は延べ 1198 件であった。
- ③ 防災意見交換会はこれまでのやり方を変え、ゲームで学ぼう台風対策「経験したことのない大雨、その時どうする」をテーマに体験参加型セミナーとして実施した。参加者は 17 名。

### 4. 訓練部会

- ① 防災訓練の実施:安否確認、災害対策用資機材の取扱説明と使用体験、防災グッズの展示、北区の消火栓を用いた放水訓練を行った。参加者は 103 名。同日、宿泊を伴う防災キャンプを行った。
- ② 救急救命講習会:つくば市消防本部の指導による心肺蘇生(胸骨圧迫と人工呼吸)、AED の使い方を体験する普通救命講習 I を実施した。参加者は 21 名。
- ③ 消火栓ホースの追加設置:下広岡消防団の協力により桜 NT 内のごみ置き場 5 か所に消火栓ホース 5 本入りケースを設置した(8/25)
- ④ 備品の購入:簡易トイレ 1 式、トイレ用テント 1、トイレセット 50 回分

### Ⅲ. 2019 年度決算報告

#### 収入

項 目	予算案額	決算額
自治会部会活動費	200,000	200,000
つくば市自主防災活動育成補助金	0	30,000
合 計	200,000	230,000

#### 支出

項 目	予算案額	決算額
備品費 小 計	5,500	6,675
折り畳みテント+簡易トイレ 1セット	5,500	6,675
備蓄品費 小 計	22,900	13,720
備蓄用 水(500mLペットボトル) 2年保存水 168本	6,800	0
5年保存水 168本	16,100	13,720
印刷費 小 計	38,500	40,490
地図作成 ニュータウン地図 A1×3	1,200	1,200
ひなん支援希望者地図 A3×33、A2×3	1,080	280
個人調査表他 A4 2枚×550	1,620	3,800
名簿作成 A4 320枚	3,200	560
安否確認用紙他 A4 160枚	1,600	2,380
防災だより A4 550部×2面×6回	4,800	2,680
部会、役員会、防災会議等資料 自宅等でのコピーを含む	25,000	29,590
消耗品費 小 計	75,400	51,432
防災訓練諸費用 アルファ米、事務用品、乾電池	16,300	6,025
黄色はちまき補充用 200枚	16,000	15,800
個人調査用封筒 封筒 600枚	1,500	2,106
コピー用紙 A4白色×7500枚、A4黄色×3500枚	7,900	9,128
広報用ポスター(ラミネート) 日赤講習、防災訓練など	8,000	0
消防ホース格納ケース 収納容量5本、5箱	10,000	10,690
整理容器(箱、袋など) プラスチック箱 4個、ホリ袋 200枚	6,200	2,283
簡易トイレ用消耗品 50回分	6,500	5,400
のこぎり(粗目) 救出用	3,000	0
開催費 小 計	21,000	11,822
日赤講習会 講習開催負担金	7,000	6,000
講習会の展示品	3,000	3,230
救急救命講習会 講習申込手続き	1,000	200
住民意見交換会 コピー代、交通費	10,000	2,392
サーバー 小 計	8,300	7,784
サーバー使用料 サーバー使用料 防災メール用	8,300	7,784
交通費 小 計	15,000	14,440
高速代(桜土浦-水戸) 高速代(桜土浦-水戸)	5,000	4,840
ガソリン代 ガソリン代	10,000	9,600
予備費 小 計	13,400	14,844
避難所運営研修ゲーム		10,987
磁石、ゆうパック、役員募集ポスター		2,160
合 計	200,000	161,207

※収支残額 68,793円は自治会の来年度予算に繰越し

※残額が多くなったのは、2年保存水の購入中止、キッズキャンプの中止、住民意見交換会で外部講師料が発生しなかったこと、市の補助金を期中に受けたことによる。

## IV. 2020 年度役員・顧問候補者

役 職	氏 名	区班	備 考
防災長	金子 和雄	北5	訓練部会
副防災長	但野 恭一	中4	ひなん支援部会
副防災長	中澤 哲夫	中1	情報部会
部会長	八代 美代子	南6	ひなん支援部会
部会長	田中 良典	北10	訓練部会
部会長	並木 宏之	南8	情報部会
会 計	市川 厚司	中7	訓練部会
会 計	高橋 貴美代	南10	ひなん支援部会
書 記	阿部 眞庭	中6	訓練部会
書 記	村岡 哲郎	南5	情報部会
顧 問	—		

## V. 2020 年度防災員名簿

氏 名		ひ	情	訓	氏 名		ひ	情	訓
1	杠 洋子	○			26	加藤 正子	○		
2	金子 和雄			○	27	菊原 妙子			○
3	阿部 淳一				28	櫻田 清彦	○		
4	仲 義人			○	29	大石 みなと	○		
5	桑名 君子	○			30	河原 政裕	○		
6	真田 恵子		○		31	池田 すみえ			
7	入鹿山 剛堂		○		32	大出 力			○
8	保坂 和子	○			33	林 次郎			
9	田中 良典			○	34	大庭 英子	○		
10	高村 聡			○	35	佐藤 淳一			○
11	森 澄子	○			36	村岡 哲郎		○	
12	丸山 美知江	○			37	海野 喜美恵			○
13	杉山 好順			○	38	八代 勉	○		
14	清水 洋			○	39	八代 美代子	○		
15	河合 靖子	○			40	安東 多恵子	○		
16	中澤 哲夫		○		41	渡辺 孝			○
17	中澤 博子	○			42	並木 宏之		○	
18	西 師毅	○			43	倉持 健			○
19	深谷 すみ子	○			44	大久保 成子	○		
20	山村 幸夫			○	45	安部 辰美	○		
21	但野 恭一	○			46	片桐 一美		○	
22	菊池 敏	○			47	高橋 貴美代	○		
23	阿部 眞庭			○	48	森崎 伸之	○		
24	市川 厚司			○	49	中村 祥一			
25	日浦 修		○						

ひ: ひなん支援部会

情: 情報部会

訓: 訓練部会

## VI. 2020 年度活動計画

### 1. 自主防災組織活動方針

- ① “自分の命は自分で守る”を基本に、住民の防災意識と防災知識・能力を高める。
- ② 当面予想される大地震や火災、台風等の被害を軽減・防止するため、平常時における防災知識の普及・啓発・広報につとめる。日赤減災セミナー、救急救命講習会、防災訓練、防災住民意見交換会、を開催して災害時に備える。9月と3月に防災の日と防災週間を設定し、備蓄品等の確認を行う。
- ③ 土浦市にある筑波研究学園専門学校を災害時の一時避難所として利用できるよう、学校、行政及び近隣の自治会と協議を進める。
- ④ 災害時の生活用水を確保するため、中央公園に災害用井戸を整備する計画を具体化する。
- ⑤ 自主防災組織は住民全員が会員の組織。今年度も年数回開かれる防災会議をよりオープンなものとするために、防災会議の開催案内を広く会員の皆さまにお知らせするので、ぜひご参加ください。

### 2. ひなん支援部会

- ① 災害時ひなん支援希望者調査を実施する(4月予定)。
  - ・支援希望者リストを更新し、必要に応じてサポーターを決める。
  - ・安否確認で使用する名簿と地図を作成し、倉庫に保管する。
  - ・支援希望者宅の訪問を年3回実施する。
- ② 日本赤十字減災セミナーを、災害時高齢者生活支援をテーマに実施する(6月予定)。
- ③ 防災訓練で安否確認を担当する。

### 3. 情報部会

- ① 自主防災活動の広報
  - ・「防災だより」を年6回発行して活動報告、催し物の案内、その他お知らせ等を広報する
  - ・ホームページ(HP)に訓練や講習会のお知らせ、防災だよりの掲載、自主防役員会の議事録などを掲載(防災員ページ)し、自主防災組織の活動状況が分かるようにする。
  - ・地震・台風・強風・大雨・高温など異常気象が予想される場合、および周辺環境状況の悪化など注意喚起のための防災メールを発信する。
  - ・災害時には掲示板、ホームページ、防災メール、街宣車を使用して情報を提供する。
- ② 防災メールおよびHPの管理運営
  - ・自治会新役員、新入居者へ防災メールの登録をお願いするとともに、防災メール登録促進用チラシを作成する。防災メール相談会を開催する(2回)
  - ・HPの掲載内容は常に新しい情報が提供できるように随時更新を行う。
- ③ 防災住民意見交換会を「ちょっと防災を考えよう」シリーズとして開催する。

### 4. 訓練部会

- ① 救急救命講習会の実施(7月予定)
- ② 防災訓練の実施(10月予定)
  - ・安否確認、災害対策用資機材の取扱い説明と使用体験、子供プログラム、消火栓取扱訓練を予定。
  - ・防災訓練実施のために関係者との事前打合せ・準備を行う。

## VII. 2020 年度予算(案)

## 収入

項	目	予算額	合計
	自治会部会活動費	200,000	200,000
	つくば市自主防災活動育成補助金	30,000	30,000
	合 計	230,000	230,000

## 支出

項	目	内訳	費目合計	
備品費	ワンタッチ折り畳みテント+簡易トイレ	5,500	27,500	
	家庭用電気変換機 (インバータ: DC12V→AC100V)	22,000		
備蓄品費	備蓄用 水PETボトル	賞味期限 2年 144本	5,700	17,700
		賞味期限 5年 144本	12,000	
印刷費	地図作成	ニュータウン地図 A1×3	1,200	64,430
	ひなん支援希望者地図	A3、A4	600	
	個人調査表他	A4 2枚×550	3,000	
	安否確認	A4 160枚	2,300	
	ポスター等(防災訓練、講習会)	A4～A3、55枚	3,000	
	防災だより	A4 550部×2面×6回	4,000	
	防災マップ	B4カラー 600枚	15,000	
	部会、役員会、防災会議資料	自宅等でのコピーを含む	35,330	
消耗品費	防災訓練諸費用	啓蒙活動、アルファ米、事務用品、乾電池	21,700	46,070
	個人調査用封筒	封筒 500枚	2,200	
	シール	300シート 10面	2,120	
	コピー用紙	A4白色×7000枚	8,400	
	広報用ポスター(ラミネート等)	日赤講習、防災訓練等	2,500	
	マグネットシート	20枚	3,000	
	整理容器(箱、袋など)	ポリ袋 100枚	750	
	簡易トイレ用消耗品	50回分	5,400	
開催費	日赤講習会	講師費用	6,000	21,000
	講習会展示費用	展示用品、紙類	4,000	
	救急救命講習	講習申込手続き等	1,000	
	住民意見交換会	講師謝礼、講習用材料	10,000	
サーバ 使用料	ドメイン使用料	ドメイン名使用料	2,500	8,300
	サーバー使用料	レンタルサーバ利用料	5,800	
交通費	高速料金、ガソリン代等	水戸2往復等	15,000	15,000
予備費			30,000	30,000
	合 計			230,000